

至学館大学

一般入試(後期)

生物基礎 出題意図

健康科学部では、各学科の専門分野における深い専門知識と実践力を身につけ、健全な心身に裏付けられた人間力をもって人々の健康実現に寄与・貢献できる人材の育成を教育目標としている。その基盤として、生命現象に関する基本的理解を修得していることが重要であると考えている。

生物基礎の入試問題は、高等学校学習指導要領に基づき、「生物の特徴」「遺伝子とそのはたらき」「ヒトの体内環境の維持」「生物の多様性と生態系」など、生物基礎で扱われるすべての学習内容を対象とし、特定の分野に偏ることなくバランスよく出題している。具体的には、生物基礎の教科書に示される各章の内容を踏まえ、生命活動の基本原理、体内環境の維持、免疫、生態系と生物多様性などの主要な学習内容を幅広く取り上げることで、学習内容全体に対する理解を総合的に確認できるよう問題を構成している。

これにより、受験生が高等学校段階で修得すべき生物に関する基礎的な知識・技能を適切に身につけているかを確認するとともに、それらの知識を活用して生命現象を科学的に理解し、考察する思考力や判断力を評価することを目的としている。

また、本学部のアドミッションポリシーにおいて求めている「高等学校における幅広い学修に基づく基礎学力」を確認する観点から、生物に関する基本概念の理解と、それらをもとに生命現象を説明・考察する能力を総合的に評価する出題としている。これらの能力は、将来、栄養、運動、健康科学など、人々の健康に関わる専門分野を学ぶための重要な基盤となるものである。